

平成27年度事務事業評価表（平成26年度振り返り）

政策名	住みやすさを感じるまち	施策番号・名	06	生活の安全・安心の向上	基本事業番号・名	06-03	交通安全の推進
-----	-------------	--------	----	-------------	----------	-------	---------

事務事業番号	所管課係名 所管課長名 事務事業名	事務事業の概要 (根拠法令等、補助・給付区分、事業形態、近隣市状況)	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費、人件費							所管課評価 (事務事業の方向性、項目別評価、所管課としての総合評価及び方向性)				外部評価					
				指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	左記「事業費(実績額)」に係る財源					人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	有効性	効率性	達成度							
										特定財源			一般財源							事業費 (実績額) ① (千円)		国	都	その他	特定財源に伴う一般財源	一般財源
06-03-01	管理課 道路・河川施設担当	根拠法令等 □ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的 (国) 道路法	対象 交通安全施設(反射鏡・防護柵等)	平成26年度 7,147 (数)	平成26年度 100 (件)	平成26年度 67 (件)	6,993						6,993	3,975	10,968	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持		有効性					
	管理課長 小泉 勝巳	補助事業 □ 該当 □ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度) □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	手段・内容 道路反射鏡等の破損時においては、現場実査をして修繕を実施した。	平成25年度 7,127 (数)	平成25年度 129 (件)	平成25年度 58 (件)	6,625						6,625	2,839	9,464	評価: 市道利用者を交通事故から未然に防ぐため、設置した交通安全施設(道路反射鏡、防護柵等)を適正に維持管理することは、その施設管理者の義務である。										
	交通安全施設維持管理事業	給付事業 □ 該当 □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	意図 交通安全施設を適正に管理することにより交通事故発生防止を図る。	平成24年度 7,022 (数)	平成24年度 144 (件)	平成24年度 82 (件)	6,113						6,113	2,686	8,799	方向性: 今後も存続する必要がある。										
	事業形態 □ 直営(委託無) □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 指定管理 □ その他() 近隣市状況 ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他()																									
06-03-02	管理課 道路・河川施設担当	根拠法令等 ■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	対象 車両・人(通行者)	平成26年度 5,209 (台)	平成26年度 2 (箇所)	平成26年度 2 (箇所)	92							92	81	173	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持	有効性	-	効率性	-	達成度	-
	管理課長 小泉 勝巳	補助事業 □ 該当 □ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度) □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	手段・内容 信号機・横断歩道の要望箇所における通過車両を調査し管轄警察署に要望として提出をおこなう。	平成25年度 -	平成25年度 -	平成25年度 2 (箇所)	0						0	0	0	評価: 交通量の現状と将来の予測を把握するために行う交通量調査のデータは、道路設計、安全施設設置要望(横断歩道、信号機)するために必要である。										
	交通量調査事業	給付事業 □ 該当 □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	意図 交通環境の整備(信号機・横断歩道等)の向上を図る。	平成24年度 16,633 (台)	平成24年度 1 (箇所)	平成24年度 3 (箇所)	63						63	79	142	方向性: 今後も存続する必要がある。なお、調査については、外部委託を行っている。(平成25年度は未実施である。)										
	事業形態 □ 直営(委託無) ■ 全部委託 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他() 近隣市状況 ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他()																									
06-03-03	管理課 道路・河川施設担当	根拠法令等 □ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的 (国) 道路法	対象 市内の道路利用者(車両・歩行者)	平成26年度 116,610 (人)	平成26年度 76 (箇所)	平成26年度 76.0 (%)	17,451		2,149			15,302		8,274	25,725	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持	有効性	3	効率性	3	達成度	3	
	管理課長 小泉 勝巳	補助事業 □ 該当 □ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度) □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	手段・内容 市民より交通安全施設設置の要望をうけた箇所の調査を行い、道路反射鏡、防護柵、警戒看板等の新設設置をおこない、必要な交通安全施設の設置等の対応をおこなった。また道路環境、(通学路等)の点検を実施した。	平成25年度 116,410 (人)	平成25年度 133 (箇所)	平成25年度 75.8 (%)	17,680		10,200			7,480		7,139	24,819	評価: 交通危険箇所を把握し、対策を講じる必要性のある事務事業である。										
	交通安全施設整備事業	給付事業 □ 該当 □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	意図 交通安全施設を整えることにより安全・安心な交通環境を図る。	平成24年度 116,015 (人)	平成24年度 131 (箇所)	平成24年度 78.2 (%)	16,280		6,484			9,796		7,425	23,705	方向性: 今後も継続する必要がある。										
	事業形態 □ 直営(委託無) □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 指定管理 □ その他() 近隣市状況 ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他()																									
06-03-04	管理課 道路・河川施設担当	根拠法令等 □ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務的 (国) 道路法	対象 市内の道路利用者(車両・歩行者)	平成26年度 116,610 (人)	平成26年度 5 (基)	平成26年度 138 (件)	82						82	243	325	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	アウトソーシング	有効性	1	効率性	4	達成度	3	
	管理課長 小泉 勝巳	補助事業 □ 該当 □ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度) □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	手段・内容 交通事故の多発地帯の現場調査を行い、照度の低い交差点を中心として照度の改善をした。東京都に設置計画を提出して翌年度の予算化を図った。現場調査、設置手続き調査、都との打ち合わせ、設置工事(委託)現場確認を行った。住民からの要望等に対応した。	平成25年度 116,410 (人)	平成25年度 3 (基)	平成25年度 179 (件)	110						110	243	353	評価: 薄暮帯から夜間において、自動車、オートバイ、自転車が交通災害を未然に防ぐため必要のある事務事業である。										
	道路照明整備事業	給付事業 □ 該当 □ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他() 要綱等 □ 特財の廃止(予定含)	意図 薄暮帯から夜間において、ドライバー(自動車、オートバイ、自転車)に対し人影を認識させることで交通事故を未然に防ぐ。	平成24年度 116,015 (人)	平成24年度 10 (基)	平成24年度 142 (件)	110						110	237	347	方向性: 今後も存続する必要があるが、防犯灯整備を含めたLED化とともに、外部委託について調査・検討する必要がある。										
	事業形態 □ 直営(委託無) ■ 全部委託 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他() 近隣市状況 ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他()																									

「有効性」とは成果指標の対前年度比に基づき、「効率性」とはトータルコストの対前年度比に基づき一律に判定したものである。また、「達成度」とは「有効性」と「効率性」の判定をクロスさせることにより画一的に判定したものである。

平成27年度事務事業評価表（平成26年度振り返り）

政策名	住みやすさを感じるまち		施策番号・名	06	生活の安全・安心の向上	基本事業番号・名	06-03				交通安全の推進																
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、補助・給付区分、事業形態、近隣市状況)		事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)		対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費、人件費						所管課評価 (事務事業の方向性、項目別評価、所管課としての総合評価及び方向性)			全庁評価会議 (28年度に向けた方向性等)						
	所管課長名					指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	左記「事業費(実績額)」に係る財源			人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)											
	事務事業名					指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	特定財源					一般財源					外部評価					
06-03-05	道路計画課 道路交通計画係	根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 東久留米市交通安全計画		対象	市内小学校新入学児童		平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持	有効性 1 効率性 1 達成度 1 評価：新入学児童と保護者を対象に、所轄警察署、東久留米教習所、東久留米市交通安全協会等と連携し実施している事業である。人形劇公演や教習所での信号機の渡り方等の体験から交通ルールを体得しており、交通安全運動に対して創意・工夫をもって取り組んでいる。 方向性：児童の交通事故防止に努める必要から、今後も継続して遂行していく。				
	道路計画課長 小林 徹雄	補助事業	<input type="checkbox"/> 行政補完的(改正実施年度 年度) <input type="checkbox"/> 政策的(改正実施年度 年度) <input type="checkbox"/> 市独自乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他() 要綱等		手段・内容	所轄警察署、東久留米自動車教習所、関係機関と共に交通安全指導の実施計画連絡会の実施、新入学児童に対する交通安全指導の実施、人形劇公演の委託などの活動		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	対前年度市内小学生に対する人身事故削減件数	平成25年度 924 (人) 平成24年度 846 (人)	平成25年度 150 (人) 平成24年度 77 (人)	平成25年度 -3 (件) 平成24年度 6 (件)		平成25年度 756 (千円) 平成24年度 189 (千円)	平成25年度 756 (千円) 平成24年度 189 (千円)	平成25年度 164 (千円) 平成24年度 165 (千円)	平成25年度 920 (千円) 平成24年度 354 (千円)
	新入学児童交通安全指導事業	給付事業	<input type="checkbox"/> 市独自乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他() 要綱等		意図	児童の交通安全ルール体得		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度									
	事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他()		近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input type="checkbox"/> その他()				平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度								
06-03-06	道路計画課 道路交通計画係	根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 東久留米市交通安全計画		対象	市民(自動車・バイク・自転車の利用者、歩行者)		平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持	有効性 3 効率性 2 達成度 3 評価：所轄警察署・関係機関等と連携し、市内小学校への交通安全教室や中学校における「スクエアドストレイト技法」による実践的な交通安全教室を開催するなど、小中学生に対し交通安全啓発活動を実施するものである。また、春と秋の全国交通安全運動、Tokyo交通安全キャンペーン等の期間に様々な広報及び啓発活動を行い交通安全意識向上や交通ルール・マナーの体得、更には交通規則を遵守する市民意識の醸成を図る効果がある。 方向性：交通事故を減少するため、今後とも事業の効率化を図りながら、啓発を進めていく。				
	道路計画課長 小林 徹雄	補助事業	<input type="checkbox"/> 行政補完的(改正実施年度 年度) <input type="checkbox"/> 政策的(改正実施年度 年度) <input type="checkbox"/> 市独自乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他() 要綱等		手段・内容	所轄警察署・関係機関と共に交通安全指導による広報活動、小学校交通安全教室の開催による啓発活動、中学校交通安全教室(スタントマンを活用したスケアードストレイト教室)交通安全運動期間中の街頭指導や運転者講習会開催による啓発活動、交通安全キャンペーン実施による啓発活動		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	交通安全意識向上や交通ルール・マナーを体得し、交通規則を遵守してもらう。	平成25年度 116,417 (人) 平成24年度 115,840 (人)	平成25年度 3,100 (人) 平成24年度 4,000 (人)	平成25年度 62.2 (%) 平成24年度 62.4 (%)		平成25年度 1,005 (千円) 平成24年度 840 (千円)	平成25年度 1,005 (千円) 平成24年度 840 (千円)	平成25年度 612 (千円) 平成24年度 633 (千円)	平成25年度 1,617 (千円) 平成24年度 1,473 (千円)
	交通安全対策啓発事業	給付事業	<input type="checkbox"/> 市独自乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他() 要綱等		意図	交通安全意識向上や交通ルール・マナーを体得し、交通規則を遵守してもらう。		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度									
	事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他()		近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input type="checkbox"/> その他()				平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度								
06-03-07	道路計画課 道路交通計画係	根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 東久留米市交通安全計画、平成26年度東久留米市交通安全協会補助金交付要綱		対象	東久留米市交通安全協会		平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	前年度において示した方向性	現状維持	28年度以降方向性	現状維持	有効性 4 効率性 3 達成度 3 評価：東久留米市交通安全協会は、市内において様々な交通安全広報及び啓発活動に取り組んでおり、市民の交通安全意識の向上としての目的に効果がある。 方向性：協会の活動への支援は、地域の交通安全活動の充実・市民の交通安全意識の向上を目的としており、継続していく。				
	道路計画課長 小林 徹雄	補助事業	<input type="checkbox"/> 行政補完的(改正実施年度 26年度) <input type="checkbox"/> 政策的(改正実施年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 市独自乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他() 要綱等 平成26年度東久留米市交通安全協会補助金交付要綱		手段・内容	様々な交通安全活動を行う東久留米市交通安全協会活動への一部補助を行う。		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	交通安全各々種行なった交通安全活動・キャンペーン等の活動日数	平成25年度 116,417 (人) 平成24年度 115,840 (人)	平成25年度 39 (日) 平成24年度 39 (日)	平成25年度 34 (件) 平成24年度 32 (件)		平成25年度 1,800 (千円) 平成24年度 1,800 (千円)	平成25年度 1,800 (千円) 平成24年度 1,800 (千円)	平成25年度 816 (千円) 平成24年度 845 (千円)	平成25年度 2,616 (千円) 平成24年度 2,645 (千円)
	交通安全協会支援事業	給付事業	<input type="checkbox"/> 市独自乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他() 要綱等		意図	活動を補助することで、東久留米市交通安全協会が様々な交通安全活動を実施できるようになり、市民の交通安全意識の向上が図れる。		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度									
	事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補助金)		近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input type="checkbox"/> その他()				平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度								

「有効性」とは成果指標の対前年度比に基づき、「効率性」とはトータルコストの対前年度比に基づき一律に判定したものである。また、「達成度」とは「有効性」と「効率性」の判定をクロスさせることにより画一的に判定したものである。